

誠愛病院内勉強会

「脳血管障害リハビリテーションにおける多角的治療アプローチ」

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 運動機能修復学講座 リハビリテーション医学 診療
講師

松元 秀次

「脳卒中治療ガイドライン2009」では、脳卒中により引き起こされる多様な障害に対するさまざまなリハビリテーション（リハ）手技が、エビデンスに基づき体系的に整理されている。しかしながら、その中味を見ると、リハ領域ではグレードA・Bのものは十分とはいえ、今後の課題が残っているといえる。さらに、欧米のガイドラインでは推奨されていないリハ手技が本邦では当たり前のように行われていることに違和感を覚えることが多い。

本勉強会では、鹿児島大学病院リハ科で取り組んでいる、促通反復療法や神経筋電気刺激、振動刺激、経頭蓋磁気刺激、ロボテックリハ、薬理学リハなどについて解説し、脳について理解し、リハ手技を習得することで可能になってくる多角的治療アプローチについて述べる。また、現在進行中である多施設共同研究や他大学・他学部・企業との共同研究、「さつまの会（鹿児島のリハ従事者の連合会）」について、その成果についても触れたい。

